

丹波篠山市清掃センター公害調査委員会会議録

1. 会議：令和7年度丹波篠山市清掃センター公害調査委員会

2. 日時：令和8年3月26日（木）15：00～15：40

3. 場所：丹波篠山市清掃センター（3階大会議室）

4. 委員名簿

雪岡 昌 丹波篠山市大山下自治会長

岡本 利樹 丹波篠山市味間北自治会長

波多野 正和 丹波篠山市味間奥自治会長

上田 忠 丹波篠山市味間六箇村代表

加藤 哲夫 丹波篠山市森林組合長

伊勢 隆雄 一般財団法人大山振興会理事長

巻幡 真利子 公募委員

富永 裕示 兵庫県丹波県民局県民躍動室 環境課

加藤委員については欠席

5. 事務局

仁木 秀樹 丹波篠山市 環境みらい部 清掃センター所長

細見 裕 丹波篠山市 環境みらい部 清掃センター課長補佐

内藤 正盛 丹波篠山市 環境みらい部 清掃センター主査

平瀬 勲 丹波篠山市 環境みらい部 清掃センター技術員

6. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 会長あいさつ (雪岡会長)

(4) 議事

① 令和7年度丹波篠山市清掃センターの排出ガス等の測定結果について

② 令和7年度丹波篠山市清掃センター事業の状況について

③ その他

(5) 閉会 (岡本副会長)

会議の内容

【議事】

① 令和7年度丹波篠山市清掃センターの排出ガス等の測定結果について
事務局（資料1ページ～5ページを説明）

委員 A

令和6年度は測定業者が、(公財)ひょうご環境創造協会であったが、令和7年度は、なぜ中外テクノス(株)関西技術センターなのか。

また、業者によって測定の違いはあるのか。

事務局

業者選定については毎年入札を実施しており、令和7年度については中外テクノス(株)関西技術センターが落札されたため。

業者によって測定の違いはあるのかということについては、測定できる範囲の下限值に多少の差があるが、測定結果について問題はない。

委員 B

2ページ目の窒素酸化物の測定数値だけ許容範囲ギリギリなのだが、理由はあるのか。

事務局

窒素酸化物は、例えば木材などの自然由来のものを燃焼させた際に出るものであるため規制値に近い数値となっている。今後はできる限り攪拌等をしてこのような数値が出ないように努める。

② 令和7年度丹波篠山市清掃センター事業の状況について
事務局（資料6ページ～8ページを説明）

委員 C

資源化物の項目において、乾電池だけ前年対比300パーセント増となっているが乾電池の項目の中に、リチウムイオンバッテリーやモバイルバッテリーは含まれるのか。

事務局

乾電池は元々水銀が使われていることから10年以上前より専門業者に引き取ってもらいリサイクル処理をしている。リチウムイオンバッテリーやモバイルバッテリーにつ

いては、発火の可能性があるため、ゴミステーションでの回収はしていないが月一回の拠点回収の時に無料で回収している。また、清掃センターへの直接搬入でも回収しており、資源化物として業者に引き取ってもらう際には、リチウムイオンバッテリーやモバイルバッテリーも含まれている。そのほか、電動工具のバッテリーや電動アシスト付自転車のバッテリーなどの充電式二次電池とよばれるものも同様に資源化物として引き取ってもらいリサイクルしている。